



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月5日

上場会社名 わかもと製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4512 URL <https://www.wakamoto-pharm.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）平井 友行
 問合せ先責任者 （役職名）執行役員 広報室長 （氏名）高野 浩一 TEL 03-3279-0371
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	2,425	11.9	△136	—	△107	—	6	—
2026年3月期第1四半期	2,168	15.1	△143	—	△117	—	△108	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	0.19	—
2026年3月期第1四半期	△3.12	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	15,857	11,718	73.9	337.66
2026年3月期	16,499	12,008	72.8	346.00

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 11,718百万円 2026年3月期 12,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	3.50	3.50
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	3.50	3.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	11,000	11.0	200	△21.7	200	△22.0	230	1.2	6.62

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	34,838,325株	2026年3月期	34,838,325株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	132,486株	2026年3月期	132,441株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	34,705,857株	2026年3月期1Q	34,706,268株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における経営成績につきましては、以下のとおりです。

	2026年3月期 第1四半期 累計期間 (百万円)	2027年3月期 第1四半期 累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	2,168	2,425	256	11.9
売上総利益	1,021	952	△68	△6.7
営業損失（△）	△143	△136	6	—
経常損失（△）	△117	△107	10	—
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△108	6	115	—

売上高は、国内外に向けた「強力わかもと」の売上伸長およびグローバル事業における点眼剤の受託製造増加などにより、前年同期比、2億5千6百万円増加し、24億2千5百万円となりました（前年同期比11.9%増）。

売上総利益は、薬価改定の影響等により、前年同期比6千8百万円減少し、9億5千2百万円となりました（前年同期比6.7%減）。

販売費および一般管理費は、前年同期の広告費増嵩要因の剥落等により、前年同期比7千5百万円減少し、10億8千9百万円となりました（前年同期比6.5%減）。

以上の結果、営業損益面では、営業損失1億3千6百万円（前年同期比6百万円増）、経常損益面では、経常損失1億7百万円（前年同期比1千万円増）となりました。投資有価証券売却による特別利益1億5千2百万円を計上し、四半期純利益は、前年同期比1億1千5百万円増加し、6百万円となりました。

セグメント別の事業概況は、次のとおりであります。

①医薬事業

医薬事業では、毎年の薬価改定により薬剤費の引き下げが継続的に進められており、収益面では厳しい環境が続いております。かかる環境下、2025年11月、医療機器（眼内レンズ）事業とのシナジー効果を期待して製造販売承認を承継した「ヒアルロン酸Na眼粘弾剤」や、2025年12月に上市した「エピナスチン塩酸塩LX点眼液0.1%」等の新たな商品が、MR活動量の増加、卸との連携強化等の諸施策も奏功し、売上高の伸長に寄与しました。販売数量は増加したものの新薬創出加算返還等に伴う薬価改定の影響により「マキュエイド眼注用」等の売上高は減少しました。一方で、2024年10月に施行された長期収載品の選定療養における後発品への切り替えの流れを捉え、「ドルモロール配合点眼液」の売上高が増加しました。

医療機器事業におきましては、昨年度、発売開始しました多焦点眼内レンズ「アクリバトリノバ Pro」、乱視用モデル「アクリバトリノバ Pro トーリック」、「テノン囊下投与針」等の販売につき、本年度を取組元年として、医薬事業に加えて、医療現場への更なる貢献を目指し、事業拡大に取り組んでいるところであります。

その結果、医薬事業全体の売上高は、前年同期比4千9百万円増加し、11億5千万円（前年同期比4.5%増）となりました。

②ヘルスケア事業

ヘルスケア事業では、乳酸菌技術をはじめとする当社技術を用いた製品によるセルフメディケーションの推進、お客様満足度アップを目指し、オンライン、オフライン両軸での接点の強化、広告宣伝と連動した売り場作りを実施してまいりました。「強力わかもと」の国内での更なる認知拡大に向け、6月より新広告及びTV番組の提供をスタートし、元気なカラダづくりには、年齢とともに胃腸の衰えを感じるタイミングで飲み始めることの重要性を訴求するイベント出展等を実施していくとともに、新規顧客獲得への需要喚起を図っています。インバウンド需要への対策としては、店舗と協働し、セット企画や試供品の活用等で購買を促進する展開を実施してまいりました。

その結果、ヘルスケア事業全体の売上高は、前年同期比2千5百万円増加し、6億2千5百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

③グローバル事業

グローバル事業では、台湾などアジア圏での「強力わかもと」の販売に加え、欧米、アジア、オセアニアにおけるライセンスイン・アウトの活動、中国越境ECの拡大、国内外での乳酸菌事業の拡大に努めてまいりました。国内事業は、点眼剤の受託製造増加、海外事業においては、中国越境ECにおける広告施策を展開した「強力わかもと」、輸出用「マキュエイド眼注用」の売上が増加しました。その結果、グローバル事業全体の売上高は、前年同期比1億7千6百万円増加し、6億円（前年同期比41.7%増）となりました。

④不動産賃貸業

不動産賃貸業の主たる収入はコレド室町関連の賃貸料であります。売上高は、前年同期比4百万円増加し、4千8百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、158億5千7百万円となり前事業年度末比6億4千1百万円の減少となりました。商品及び製品、機械及び装置が増加した一方で、売掛金や投資有価証券は減少いたしました。これは主に、計画的な在庫の積み増しや相模大井工場の一部増設及び投資有価証券の売却によるものであります。

負債は、41億3千8百万円となり前事業年度末比3億5千2百万円の減少となりました。これは主に、未払消費税等、未払法人税等が減少したことによるものであります。

また、純資産は117億1千8百万円となり前事業年度末比2億8千9百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金、その他有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の72.8%から73.9%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月15日に公表しました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,006,175	1,917,661
売掛金	3,483,563	3,075,588
商品及び製品	2,619,255	2,941,435
仕掛品	369,905	446,783
原材料及び貯蔵品	932,556	866,606
未収還付法人税等	-	4,867
その他	260,362	199,367
流動資産合計	9,671,819	9,452,311
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,269,409	8,371,859
減価償却累計額	△5,932,873	△5,977,555
建物（純額）	2,336,536	2,394,303
構築物	268,904	268,904
減価償却累計額	△261,882	△262,466
構築物（純額）	7,021	6,438
機械及び装置	8,867,978	9,276,358
減価償却累計額	△8,285,248	△8,330,424
機械及び装置（純額）	582,730	945,934
車両運搬具	38,883	38,883
減価償却累計額	△35,843	△36,089
車両運搬具（純額）	3,039	2,793
工具、器具及び備品	1,151,358	1,144,641
減価償却累計額	△1,007,822	△991,871
工具、器具及び備品（純額）	143,535	152,770
土地	82,947	82,947
建設仮勘定	505,865	44,515
有形固定資産合計	3,661,676	3,629,703
無形固定資産		
ソフトウェア	199,844	194,372
ソフトウェア仮勘定	38,000	55,304
その他	3,680	3,680
無形固定資産合計	241,524	253,356
投資その他の資産		
投資有価証券	2,252,637	1,897,096
保険積立金	291,964	242,304
修繕積立金	153,542	161,364
その他	257,846	252,890
貸倒引当金	△31,403	△31,403
投資その他の資産合計	2,924,587	2,522,252
固定資産合計	6,827,788	6,405,313
資産合計	16,499,607	15,857,624

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,005,435	1,046,652
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	38,460	57,690
未払法人税等	111,370	15,003
賞与引当金	370,900	155,706
未払消費税等	150,001	-
その他	1,005,132	1,121,529
流動負債合計	2,781,298	2,496,581
固定負債		
長期借入金	261,540	242,310
繰延税金負債	268,739	222,735
退職給付引当金	1,007,874	1,006,329
長期預り金	171,573	170,795
固定負債合計	1,709,727	1,642,170
負債合計	4,491,025	4,138,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,826	2,675,826
利益剰余金	4,794,720	4,679,961
自己株式	△36,614	△36,629
株主資本合計	10,829,820	10,715,045
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,178,760	1,003,826
評価・換算差額等合計	1,178,760	1,003,826
純資産合計	12,008,581	11,718,872
負債純資産合計	16,499,607	15,857,624

（2）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	2,168,551	2,425,528
売上原価	1,147,300	1,472,775
売上総利益	1,021,251	952,753
販売費及び一般管理費	1,164,558	1,089,151
営業損失（△）	△143,306	△136,398
営業外収益		
受取配当金	24,077	31,779
為替差益	1,107	105
その他	3,625	1,970
営業外収益合計	28,810	33,855
営業外費用		
支払利息	280	1,738
寄付金	2,572	3,122
その他	133	16
営業外費用合計	2,985	4,876
経常損失（△）	△117,481	△107,418
特別利益		
投資有価証券売却益	-	152,732
特別利益合計	-	152,732
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△117,481	45,313
法人税、住民税及び事業税	4,088	4,088
法人税等調整額	△13,115	34,514
法人税等合計	△9,027	38,602
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△108,454	6,711

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	109,260千円	130,027千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間（自2025年4月1日至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期損益 計算書計上 額(注)
	医薬事業	ヘルスケア 事業	グローバル 事業	不動産 賃貸業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,100,714	599,678	424,224	43,935	2,168,551	—	2,168,551
計	1,100,714	599,678	424,224	43,935	2,168,551	—	2,168,551
セグメント利益又は 損失（△）	△263,581	49,895	55,788	14,590	△143,306	—	△143,306

(注) セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期損益計算書の営業損失（△）と一致しております。

当第1四半期累計期間（自2026年4月1日至2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期損益 計算書計上 額(注)
	医薬事業	ヘルスケア 事業	グローバル 事業	不動産 賃貸業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,150,187	625,500	600,947	48,893	2,425,528	—	2,425,528
計	1,150,187	625,500	600,947	48,893	2,425,528	—	2,425,528
セグメント利益又は 損失（△）	△364,604	101,930	106,985	19,288	△136,398	—	△136,398

(注) セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期損益計算書の営業損失（△）と一致しております。